

ツルハHD・ウエルシアHDの経営統合について

イオン株式会社（以下「イオン」といいます。）は、2025年5月14日付け「議決権行使助言会社の推奨レポート等に関する当社の見解について」に記載しましたとおり、株式会社ツルハホールディングス（以下「ツルハHD」といいます。）及びウエルシアホールディングス株式会社（以下「ウエルシアHD」といいます。）との間で合意した資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）には重要な意義とシナジーがあり、その一環としてツルハHDとウエルシアHDとの間で株式交換を実行することは、3社の株主、お客さま及び地域社会等すべてのステークホルダーにとって有益であると確信しています。

イオンの株主、投資家の皆様と対話をさせていただく中で、本資本業務提携の意義についてご質問を多くいただいておりますので、以下のとおり、改めてイオンの考えをご説明させていただきます。

（1）商品等の連携による事業シナジーの創出

イオンは、本資本業務提携の実行により、イオン・ツルハHD及びウエルシアHDにおいて、統合3年後に約500億円のシナジーを発現させることができると考えています。特に、商品調達や物流、プライベートブランド商品について、ツルハHD・ウエルシアHD間のみならず、イオングループ全体で連携を図ることにより、イオン・ツルハHD・ウエルシアHDそれぞれが、利益率の改善等、大きなメリットを享受できると見込んでいます。

3社間の連携をさらに深めていくことで、2032年2月期においては、統合後のツルハHDの売上高を3兆円、営業利益率を7%とすることを目標としています。

（2）クリアランスの取得

イオン、ツルハHD及びウエルシアHDの3社は、本資本業務提携の実行のため、2024年3月以降、独占禁止法に基づく企業結合審査を受けておりましたが、2025年4月30日付で、公正取引委員会からクリアランスを取得しました。本クリアランスの取得により、本資本業務提携の実行が可能となり、アジアNo.1のドラッグストア連合体を目指す道筋が明確に立ったと考えております。

（3）事業ポートフォリオの変革

ツルハHDの連結子会社化により、連結営業利益をはじめとするイオングループの利益水準の向上が見込まれますが、それにとどまらず、本資本業務提携によって、イオングループの事業ポートフォリオ自体も変革することが可能となります。イオングループは、これまで、GMS・SMを中心とする「食」の分野に依存する傾向にありましたが、本資本業務提携の実行後は、ウエルシアHDと統合後のツルハHDを中核企業とするヘルス&ウエルネス事業を柱の一つとして、事業ポートフォリオの変革を図ってまいります。これにより、イオングループは、地域で暮らす人々の健康と生活の全体を支える企業体へと進化することができるようになります。

ツルハHD・ウエルシアHDにとっても、イオングループのアセットを用いて一気に事業機会を拡大することや海外展開を加速することができるようになり、これまでとは異なる成長曲線を描くことが可能となります。

以上のとおり、本資本業務提携の実行により、イオン・ツルハHD・ウエルシアHDの3社はともに飛躍的な成長を遂げることができます。近時、事業環境が急速に厳しくなっている中、本資本業務提携をなるべく早期に実現することが3社にとって極めて重要であり、株主・投資家の皆様においては、本資本業務提携の実現に向けてご支援いただきますよう、何卒お願い申し上げます。

以上